

あいち農産物生産流通レポート

平成24年4月号

情報サロン		
・食育について学びました	(園芸農産課)	1
地域トピックス		
・2012花半島事業フラワーフェスティバルin常滑が 開催されました	(知多農林水産事務所)	2
東日本情報		
・千葉大学拠点における植物工場の実証・展示の取り組み	(東京事務所)	3
西日本情報		
・「フードックス・ジャパン2012」(国際食品・飲料展) 愛知県として初めて出展！！	(食育推進課)	5
フラワーページ		
・3県合同カラー販促キャンペーンについて	(東京事務所)	7
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		9
・名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し		10
花 き		
・切花・鉢花の4月の見通し(県内市場)		22
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2012年1月)		26
関連指数		27

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

食育について学びました

園芸農産課

平成24年3月2日(金)に、名古屋市西区の食品工業技術センターにおいて、食品工業技術センターと社団法人愛知県漬物協会の共催で、「おつけもの研修会」が開催されました。この研修会は、毎年、食をテーマに様々な話題の提供を行っています。今回は、愛知みずほ大学の上原正子教授による講演を行い、食育について基礎から学びました。



研修会の様子

食育とは ~食育の語源~

食育という言葉は、明治時代から使われ「食育・体育・知育・才育・徳育」の五育がありました。その語源は二冊の本『通俗食物療養法(石塚左玄著)』と『食道楽(村井弦斎著)』にあります。石塚は「今日、学童をもつ人は、体育も知育も才育もすべて食育にあると認識すべき」としており、村井は「小児には徳育よりも、智育よりも、体育よりも食育が先き。体育、徳育の根源も食育にある」と述べています。

子供の食育 ~食育は給食だけではない!~

食育は、給食や家庭科のみでしか出来ないと思われがちですが、他の方法でも出来ます。例えば、図工で食べ物の絵を描いたり、国語で食べ物の感想を書くことが挙げられます。現在では、栄養教諭による食育授業のほか、食育ボランティアによる収穫体験・工場見学など、様々な食育の取組みがなされています。

「早寝早起き朝ご飯」は、学力にも影響することから、学校でも重要な指導事項となっています。また、サツマイモの栽培から食べるまでを実践するなどの食育・食農教育に力を入れている学校もあります。

大人の食育 ~大人の食育は会社で!~

食の洋風化に伴い、脂質・塩分の過剰摂取、野菜不足が問題となり、生活習慣病の原因の一つと言われています。そのため、子供だけでなく大人も食育が必要となっています。朝食抜きや、好きなものしか食べない、女性のやせ等の問題があり、大人の食育の重要性は高まっています。

今日の研究で、幸福度と料理好きに正の相関があることが分かり、食は人生の幸福度・豊かさにも大いに影響を与えることが判明しました。

また、日本人の伝統的な食文化である「和食」が世界無形遺産に提案される動きがあります。これを期に一度自分の食生活を見直してみませんか。

2012 花半島事業フラワーフェスティバル in 常滑が開催されました

平成24年2月4日(土)～5日(日)の2日間、常滑市の中部国際空港内セントレアホールにて、「2012 花半島事業フラワーフェスティバル in 常滑(以下、「フェスティバル」という)」が開催されました。

フェスティバルは、JAあいち知多花半島事業構想を具体化した事業として開催され、今回で5回目となります。

会場では、開催地の常滑市を始め、知多半島5市5町(東海市、大府市、知多市、常滑市、半田市、東浦町、阿久比町、武豊町、美浜町、南知多町)がそれぞれに生産している花と、特産物等を組み合わせたブースを出展しました。来場者は、2日間で2,200人あり、知多半島が愛知県有数の花の産地であることを大いにPRできました。



開催地 常滑市ブース

知多農林水産事務所では、フェスティバル推進委員会構成員として、来場者アンケートを行い、回答者2,000人にカルセオラリアのポット苗プレゼントなどを実施し、積極的な花の消費拡大を啓発することができました。



フェスティバル開会式
実行委員会長あいさつ



来場者で賑わう会場

【JAあいち知多花半島事業構想とは】

花半島事業推進本部(事務局:JAあいち知多生活部、平成16年度設置)が中心となり、「愛知県有数の花の産地である知多半島のイメージアップと、これらを通じて知多半島の農業振興・地域振興に寄与する」ことを目的に、知多半島5市5町及びJAの助成により運営されている。

千葉大学拠点における植物工場の実証・展示の取り組み

首都圏に駐在する各県の流通担当で構成する在京流通行政連絡会は、2月29日(水)、千葉大学環境健康フィールド科学センター(柏の葉キャンパス)に設置された植物工場の実証・展示・研修事業を視察しました。

植物工場は農林水産省の助成を受けて平成23年6月から運用を開始したモデルハウス型植物工場です。この千葉大学拠点は、5つの「太陽光利用型植物工場」(トマト高収量システム)と2つの「完全光型植物工場」(レタス低コストシステム)があります。それに加え、市民に身近な駅、学校、コンビニや病院等への導入を目的とした「街中植物工場」、各植物工場に共通する環境、経営及び品質面を解析して最適な植物工場をめざす「領域横断」といった9つのコンソーシアムで構成されています。



総合環境制御ハウスの外観

事業計画申請の段階から各コンソーシアムが設置され、各コンソーシアムごとに参加する民間企業が連携しながら高収量で低コストな生産システムの構築をめざしています。

今回は、トマトの「太陽光利用型植物工場」について紹介します。

1. 「統合環境制御による生産性向上」コンソーシアム

高軒高ハウス(軒高5m)で受光態勢の良いハイワイヤー型ロックウール栽培をベースに技術が組み立てられています。ハウス内外の環境情報を元に「統合環境制御コンピュータ」が保温カーテン、二酸化炭素施用、温湯暖房とヒートポンプなど各種設備、機器を動かし最適な生育環境を作り出すことで高収量の実現をめざしています。なお、栽培品種は収量性の高い海外品種を用いています。

2. 「トマト長段密植栽培(スプレイシステム)」コンソーシアム

高軒高ハウスで受光態勢の良いハイワイヤー型のスプレーポニック(無培地循環噴霧水耕)栽培をベースに技術が組み立てられています。通常栽培の2倍(10aあたり4000株)の苗を植える密植栽培が特徴であり、過繁茂にならない

草姿にするため、必要最小限の窒素施用を行います。加えて、小型エアコンやヒートポンプを用いて安定した品質と高収量の実現をめざしています。なお栽培品種は国産品種を用いています。

本県では豊橋市でスプレ - システムの導入事例が多く、今後の技術開発に期待がかかります。

3. 「次世代型トマト生産システム」コンソーシアム

超密植（10 a 当たり 1 万株）して第一果房のみを収穫する「低段密植栽培システム」が基本となっています。NFT 方式の養液栽培で、年回 4 回作付けします。この栽培方式では大量の苗を使用するため環境制御できる育苗施設（商品名：苗テラス）を活用しています。また多くの労働力が必要となるため、芯止まり品種の利用や簡易誘引など省力技術の導入が特徴です。

4. 「減農薬多収型 1 段移動・高密植栽培」コンソーシアム

こちら第一果房のみを収穫する「低段密植栽培システム」（商品名：トマトリーナ）が基本となっています。さらに生育に応じてベンチ間隔を変えることでより密植栽培が可能となるように移動ベンチ装置を使用しています。また LED を用いて畝間の補光を行うことで高密植時の光合成能力を高めます。なお、育苗には苗テラスを利用します。

5. 「Dトレイ・低段密植栽培」コンソーシアム

イチゴ苗の育苗の用いられる D 形状のポット（250ml）にロックウール粒状綿を入れて 3 段果房までを収穫する密植栽培が基本となっています。苗テラスで育てた苗を Dトレイに植えて 2 次育苗した後



苗テラスの外観

後に定植します。日射比例制御による給液管理（少量多頻度かん水）により、水分ストレス等が与えられるため、高品質なトマトを生産できるのが特徴です。また、年間 4 作栽培できることから高収量も期待できるシステムです。

これらのコンソーシアムはいずれも反収 50 トンの実現をめざしており、コンソーシアム同士が切磋琢磨して、技術開発に邁進しているそうです。

さて、日本の農業は今後ますます高齢化による担い手の減少がすすみ、一方で T P P 問題に代表されるように農産物の自由化による輸入品の増加が懸念されます。こうした状況の中で、植物工場は高い生産性と経営の効率化、環境にやさしい農業の実現が可能となることから大きな期待が寄せられています。将来の施設園芸の発展のために、できるだけ早い実用化が望まれるところです。

「フーデックス・ジャパン 2012」(国際食品・飲料展)

愛知県として初めて出展！！

県産農林水産物や、それを使った加工食品を広く海外へ向けPRし、積極的に売り込んでいくため、アジア最大級の食品展示会「フーデックス・ジャパン 2012」へ、県として初めて出展しました。

展示会では、世界中の食品・飲料が一堂に会し、各国大使や関連団体を招いたオープニングセレモニーを皮切りに、世界70カ国・地域から2,391社(来場者数73,834名)が出展し、オープンとともに熱く真剣な商談が繰り広げられました。



オープニングセレモニー

本県は、海外向けの「メイドイン・バイ・ジャパン(MADE IN/BY JAPAN)」コーナーへ、県内事業者の方々とともに出展し、本県特産の大葉、名古屋コーチンの燻製その他、本県産の農林水産物を使った味噌、醤油、みりんなどを広く海外のバイヤーにPRするとともに、商談会を行いました。

1 会期

平成24年3月6日(火)～3月9日(金)

2 会場

幕張メッセ(1～8ホール) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1

3 出展状況

(1) 事業実施主体

FOODEX JAPAN 2012 あいち出展実行委員会(構成:愛知県、8事業者)

(2) 出展内容

出展者(所在地)	主な出展品目
愛知県経済農業協同組合連合会 (名古屋市)	「大葉」「高糖度トマト(麗)」「シャリ持慢」
愛知県淡水養殖漁業協同組合 (設楽町)	「あゆ一夜干」「あゆ甘露煮」「にじます甘露煮」
磯田園製茶株式会社 (田原市)	「深蒸し煎茶」「こゆまる茶(ペットボトル)」「健康百歳チップス(菓子)」
株式会社角谷文治郎商店 (碧南市)	「三州三河みりん」「三州梅酒」「三州梅酒10」
株式会社秀農業 (一宮市)	「イチゴ」「イチゴロールケーキ」「イチゴジャム」
合資会社野田味噌商店 (豊田市)	「ニッポンのmisoチカラ 天塩仕込み 豆みそ」 「ニッポンのmisoチカラ 味噌たれ」 「ニッポンのmisoチカラ 即席赤だし」
名古屋市南部食鶏加工協同組合 (名古屋市)	「名古屋コーチン燻製モモ」 「名古屋コーチン燻製プレストPむね肉」 「名古屋コーチンフランクソーセージ」
日東醸造株式会社 (碧南市)	「足助仕込三河しろたまり」「三河白だし」「漁師鍋のつゆ」

4 バイヤーズガイドの作成及び配布

FOODEX JAPAN 2012 主催者と連携して、MADE IN/BY JAPAN コーナー専用ガイド（日本語・中国語・英語・韓国語）を作成し、海外バイヤー来場時に、該当言語のガイドを配布しました。



バイヤーズガイド（商品の説明）

5 商談会の実施

FOODEX JAPAN 2012 主催者等が招聘した海外バイヤー（中国、香港、台湾、韓国、イギリス、デンマーク等）との商談を 43 件実施しました。

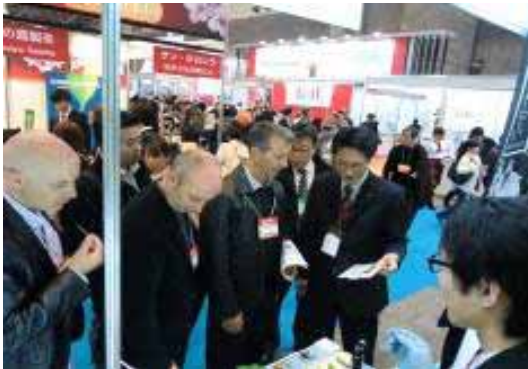
< 商談実施状況 >

種類	件数
事前計画	40
事前アポイント（日本商社）	2
日本能率協会招聘（海外バイヤー）	25
ジェットロ招聘（海外バイヤー）	13
事前計画外（海外バイヤー）	3
合計	43

< 商談結果状況（H24.3.9 現在） >

種類	件数
PRのみ	11
サンプル提供	27
テスト取引	1
取引成立	1
その他（注）	3
合計	43

（注：以前から商談があり継続中）



商品PR（海外バイヤーへ説明）



商品PR（試食により集客）

5 新たな食べ方提案によるPR

「しろたまり」を使ったドレッシング
（ディップ）として提案（温野菜に付けて試食）



「みそ」と「マンゴー」を混ぜたジュレ
として提案（クラッカーに載せて試食）



3 県合同カラー販促キャンペーンについて

湿地性カラーの主産県である愛知県、千葉県、熊本県の3県は、昨年引き続いて「ホワイトデーはカラーを贈る日」合同販促キャンペーンを2月24日(土)～3月2日(金)に実施しました。

「凜として清楚」な白色が魅力な花で、ブライダル向け花材として人気が高いです。また年度末には卒業式などの花束需要にも用いられています。

この「純白でスタイリッシュ」なカラーを男性が女性にプレゼントを贈る「ホワイトデー」にふさわしい花として定着させようと、今年も卸売市場、仲卸業者などを会場にして以下のPR活動が行われました。



3 県合同販促キャンペーン

世田谷市場でのPRイベント

2月25日(土)、市場内において東京フラワーホールセールマーケット協同組合の主催で、将来の生花需要を担う子供たちを対象に「せたがやいちばちびっこ探検隊」と銘打って、カラーを用いた花育イベントが開催されました。

板橋市場でのPRイベント

2月27日(月)～3月2日(金)、市場内で生花店3社が作ったカラーのフラワーアレンジの展示が行われました。また、仲卸棟でもカラーの展示、販売が行われました。

大田市場でのPRイベント

2月27日(月)大田市場において、関係者らによるセリ前あいさつが行われ、競売場の中央通路で3県合同によるカラーの展示が3月2日(金)まで行われました。本県関係では、JAあいち海部早尾花卉組合が主力品種の「ウエディングマーチ」「風花」を展示しました。

また同日、大田市場仲卸棟においてフラワーデザイナーの佐々木久満氏によるカラーを使った花束、アレンジなどのデモンストレーションが行われ、仕入れに来ていた生花店バイヤーなどが多く立ち寄りしました。その後、県、県連の花き担当者および部会代表者が参集して3県合同カラー研修会が行われ、大田市場仲卸協同組合青年部会長の藤井大氏(京橋花き)及び、副会長の奥山光明氏(ハナ・マーケット東京)を講師に迎えて、カラーの需要動向とニーズ、産地への提言などに関する講演と意見交換が行われました。

ホワイトデーに向けた産地の取組み

千葉県産地では都内や仙台市内の生花店等でカラーイベントを開催し、カラーの配布を行いました。また北海道では、産地と協力してフラワーデザイナーがアレンジしたカラーの花束を花き業界関係者がフラワーウォークする取組みが行われました。



佐々木氏のデモンストレーション

3月の販売状況

冬季の低温・日照不足の影響があり入荷量はやや少ない傾向にありましたが、ホワイトデー以外にもブライダル、卒園式、卒業式あるいは異動に伴う送迎会需要などに支えられて、まずまずの販売状況となりました。

インターネット関連の生花店グループの中にはホワイトデーの花束用にカラーを使う動きも出てきており、除々にではありますが、ホワイトデーにおけるカラーの需要が高まっています。

一方、生花小売店でのカラー需要は決して高いものとはいえず、出荷最盛期の3～4月期を中心としたカラーの販促提案がより一層必要です。



大田市場におけるカラー展示



3県合同のカラー研修会

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋中央卸売市場（品目：チンゲンサイ）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
23年実績	133	66 (51%)	240	239	静岡 (49%) 京都 (0%)
24年見通し	135	-	250	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>主な産地は西三河。大規模ハウスによる周年栽培がされており安定的に出荷される。年明けから2月にかけての冷え込みで生育が遅れていたが、3月以降の気温上昇に伴い生育は進み、前倒しでの出荷が見込まれる。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。</p>			<p>給食・外食業界からの需要が強い。一般家庭では、レタス・ほうれんそうなどが葉物のメイン需要を占め、チンゲンサイは二の次になる傾向がある。「中華」以外の新しい食べ方・調理法を普及する取組みが必要。 春先の気温上昇に伴い、しおれ、葉の変色等品質劣化が起こりやすいため、適時出荷と品質管理をお願いしたい。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：さやえんどう）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
23年実績	272	99 (36%)	717	838	中国 (13%) 鹿児島 (11%) 熊本 (11%)
24年見通し	250	-	1,000	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知からの入荷が多く、中国、鹿児島、熊本がこれに続く。愛知の生育は曇雨天、低温傾向の影響でやや不作傾向で推移してきているものの気温の上昇に伴い出荷量も上中旬にピークをむかえる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は震災直後の影響等で安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>			<p>さやえんどうは、春のイメージが強い商材であり、量販店にとっても4月の売り込み商材として力を入れているので、安定した出荷が求められる。 現状、本県産は味も良く、品質的にも問題がないが、今後気温の上昇による品質低下が懸念されるので、徹底した品質管理に努めて欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し

名古屋市中央卸売市場

3月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地(%) (愛知産比率)			
				上旬	中旬	下旬	
野菜計	19年	34,903	209	220	208	200	愛知 29%
	20年	35,108	204	198	204	208	北海道 12%
	21年	37,118	207	222	207	194	鹿児島 9%
	22年	33,496	256	245	261	261	徳島 7%
	23年	35,011	211	233	211	197	
	5カ年平均	35,127	217	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	33,400	239	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は地元愛知と土ものの北海道が中心。葉もの、果菜は低温の影響で前年より生育遅れ、数量が不足しており高単価。土ものはばれいしょ、たまねぎ等が好調。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
だいこん	19年	2,054	85	82	89	85	愛知 45%
	20年	2,390	80	80	88	73	千葉 30%
	21年	2,120	102	122	100	87	鹿児島 11%
	22年	2,001	121	129	134	106	長崎 7%
	23年	2,311	76	88	82	65	
	5カ年平均	2,175	92	99	98	82	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	2,100	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、千葉、長崎、鹿児島。低温・干ばつの影響で生育が遅れ気味。昨年は震災の影響で関東地方の入荷が遅れたが、今年は回復傾向にある。春系出荷は4月からで、中旬がピークとなる見通し。入荷量は前年をかなり下回り、価格は低かった前年を大幅に上回る見込み。							
にんじん	19年	2,223	120	103	112	150	徳島 97%
	20年	2,350	209	209	236	187	中国 1%
	21年	2,172	140	133	145	141	鹿児島 1%
	22年	2,115	181	138	187	218	熊本 0%
	23年	2,351	198	228	206	172	
	5カ年平均	2,242	170	164	178	173	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	2,300	190	200	190	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は徳島中心の春にんじん。九州産地は入荷を減らし、愛知はほぼ終了。年内の冷え込みが影響し、上旬は端境期となり数量が不足する。4月中旬に出荷のピークを迎える見通し。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

3月22日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	19年	126,043	219	221	214	223	千葉 15% 茨城 14% 愛知 8% 神奈川 8% (愛知産比率 8%)
	20年	134,636	229	233	227	228	
	21年	133,230	233	251	227	224	
	22年	122,146	289	279	291	297	
	23年	133,267	210	215	213	204	
	5ヵ年平均	129,864	236	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	129,000	250	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心となる。北海道からの土物類についてはほぼ終了。今年の冬の厳しい寒さと曇雨天の影響から多くの作目で生育遅れがみられる。价格的には3月までの高値疲れから一服する。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
だいこん	19年	9,209	91	79	99	96	千葉 76% 神奈川 15% 茨城 6% (愛知産比率 0%)
	20年	10,661	83	78	89	80	
	21年	10,451	100	110	105	87	
	22年	10,510	120	112	132	118	
	23年	11,781	72	74	78	62	
	5ヵ年平均	10,522	93	90	100	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	10,600	110	120	110	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>前月に引き続き関東産地からの入荷が中心となる。千葉は1月の低温、2月の多雨のため播種に遅れがみられ4月の出荷量は若干少なくなる見込み。神奈川は前倒し出荷傾向にありサイズは小振りである。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
にんじん	19年	7,330	124	105	120	150	徳島 76% 千葉 5% 台湾 4% 中国 3% (愛知産比率 0%)
	20年	7,844	211	211	229	196	
	21年	7,745	142	137	143	147	
	22年	7,622	169	129	171	207	
	23年	7,712	188	202	193	171	
	5ヵ年平均	7,651	167	158	172	174	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	7,700	170	190	170	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>徳島からの入荷が中心となる。徳島は作付増はあるものの、植え付け遅れと低温による生育遅れあり増量してくるのは下旬からとなる見込み。増量に伴い下げの展開となる。入荷量は前年並が見込まれ、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	19年	2,282	75	73	80	長崎 30% 茨城 28% 愛知 17%	
	20年	2,367	93	102	83		
	21年	2,190	116	144	102		
	22年	2,227	112	111	109		
	23年	1,826	76	108	69		
5ヵ年平均	2,178	95	107	90	89	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
24年見通し	1,900	110	120	110	100		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は茨城中心で、他に愛知と長崎。長崎は上旬に切り上がる見込み。茨城は5日～10日間の遅れ。愛知は前年並みの出荷を見込む。長野は干ばつの影響で生育が遅れている。春系は数量少ない見通し。 入荷量は前年をやや上回り、価格は低かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
		<p>ほうきさいの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフで、単価は折線グラフで示されています。数量は5月から11月にかけて増加傾向にあり、12月以降は減少傾向にあります。単価は5月から11月にかけて上昇傾向にあり、12月以降は減少傾向にあります。</p>					
キャベツ	19年	3,303	95	89	93	103	愛知 89% 三重 4% 兵庫 3% 神奈川 3%
	20年	3,695	83	87	76	87	
	21年	3,654	129	137	129	119	
	22年	3,371	153	133	184	146	
	23年	4,350	75	88	72	68	
5ヵ年平均	3,675	105	106	108	103	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
24年見通し	3,800	90	90	90	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知中心で、神奈川、兵庫、三重。冬系は秋の台風や年明けの低温、干ばつの影響で生育にばらつきがあり、数量減る見込み。春系は各産地とも、低温の影響で生育が1週間ほど遅れている。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
		<p>キャベツの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフで、単価は折線グラフで示されています。数量は5月から11月にかけて増加傾向にあり、12月以降は減少傾向にあります。単価は5月から11月にかけて上昇傾向にあり、12月以降は減少傾向にあります。</p>					
ほうれんそう	19年	343	376	371	379	379	愛知 74% 岐阜 18% 徳島 2% 福岡 2%
	20年	304	405	464	318	448	
	21年	364	413	511	357	387	
	22年	294	536	604	440	579	
	23年	343	336	407	328	325	
5ヵ年平均	330	410	468	363	418	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
24年見通し	300	400	380	380	440		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知中心で、他に中旬から岐阜飛騨産が出てくる。愛知産は、3月の多雨により作柄は悪いが、販売は順調な見通し。岐阜産は、低温の影響で雪解けが遅く、下旬頃の出荷が見込まれる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
		<p>ほうれんそうの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフで、単価は折線グラフで示されています。数量は5月から11月にかけて増加傾向にあり、12月以降は減少傾向にあります。単価は5月から11月にかけて上昇傾向にあり、12月以降は減少傾向にあります。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	19年	5,668	59	60	57	59	茨城 86% 兵庫 8% 長崎 2% (愛知産比率 0%)
	20年	5,718	89	106	89	71	
	21年	5,752	104	144	88	81	
	22年	5,926	116	120	107	122	
	23年	6,700	54	83	52	32	
	5ヵ年平均	5,953	84	102	78	72	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	6,500	80	100	80	60		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷が中心となる。茨城は春はくさいに切り替わる。低温の影響で生育は1週間ほど遅れているおり4月に入り増量してくる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移。数量は5月～11月まで増加傾向にあり、12月～4月は減少傾向にある。単価は5月～11月まで上昇傾向にあり、12月～4月は減少傾向にある。</p>					
キャベツ	19年	16,071	96	100	91	98	神奈川 43% 愛知 39% 千葉 12% 茨城 2% (愛知産比率 39%)
	20年	18,140	91	97	89	89	
	21年	18,258	122	145	117	105	
	22年	15,377	167	149	192	162	
	23年	18,876	86	99	82	79	
	5ヵ年平均	17,344	111	117	112	105	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	18,300	110	115	110	105		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知からの入荷が減少し神奈川からの入荷が多くなる。各産地とも低温、干ばつによる定植遅れに加え、曇雨天により生育は不安定である。愛知は春系は4月上旬で終了し冬系中心となる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移。数量は5月～11月まで増加傾向にあり、12月～4月は減少傾向にある。単価は5月～11月まで上昇傾向にあり、12月～4月は減少傾向にある。</p>					
ほうれんそう	19年	1,405	409	400	422	403	群馬 32% 埼玉 27% 千葉 19% 茨城 8% (愛知産比率 0%)
	20年	1,287	470	516	416	482	
	21年	1,427	424	553	360	383	
	22年	1,319	599	672	491	632	
	23年	1,075	368	414	383	334	
	5ヵ年平均	1,303	456	514	415	449	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	1,250	420	440	420	400		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも低温・干ばつ、曇雨天等で生育が不安定の状態が続き高値。4月に入り気温の上昇とともに増量し、中旬からは高値疲れもあり相場は安定する見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移。数量は5月～11月まで増加傾向にあり、12月～4月は減少傾向にある。単価は5月～11月まで上昇傾向にあり、12月～4月は減少傾向にある。</p>					

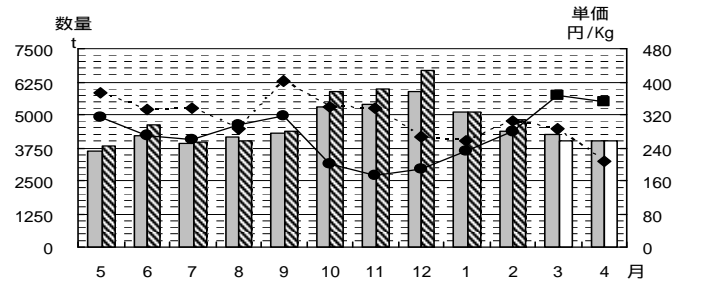
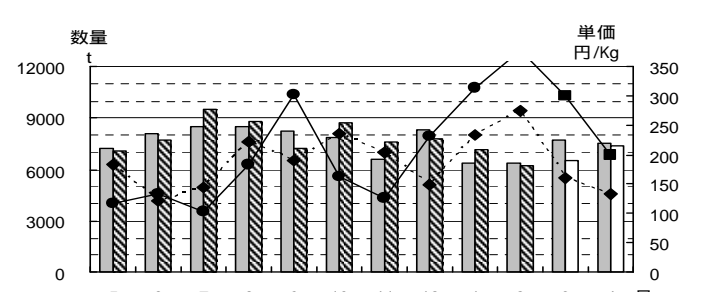
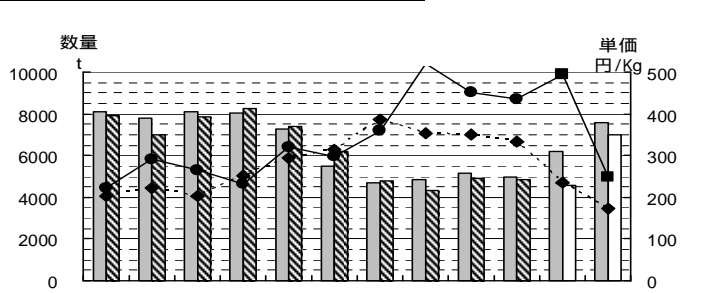
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	19年	806	271	253	266	298	愛知 26%
	20年	829	409	413	411	405	大分 23%
	21年	904	299	288	293	319	鳥取 11%
	22年	894	420	372	407	481	静岡 9%
	23年	880	301	315	301	308	
ぎ	5ヵ年平均	863	340	328	336	363	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	850	320	320	320		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知の長ねぎと、大分、鳥取、静岡の白ねぎ。年明けからの低温の影響で生育が遅れている。低温が続けば今後も遅れる見通し。春系は3月後半頃からの入荷見込み。今後の気温上昇に期待したい。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
レ	19年	1,882	254	218	258	290	兵庫 69%
	20年	1,964	172	184	165	167	茨城 14%
	21年	1,937	216	291	182	188	愛知 6%
	22年	1,741	300	308	291	301	長野 4%
	23年	1,628	171	214	170	145	
ス	5ヵ年平均	1,830	222	243	213	218	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,800	200	250	200	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は兵庫の淡路、茨城中心で、他に愛知、長野。兵庫は4月の気温上昇にともない、平年並み見込み。長野は遅れているが、今後の気温上昇と日照時間増加とともに入荷量増える見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は低かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
き	19年	1,658	234	247	233	222	愛知 44%
	20年	1,759	241	230	233	259	宮崎 22%
	21年	2,316	221	166	233	276	高知 19%
	22年	1,492	315	299	317	327	鹿児島 5%
	23年	1,825	181	195	178	195	
り	5ヵ年平均	1,810	235	221	236	255	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,700	300	280	300	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知と、高知、宮崎、群馬中心。各産地とも低温の影響により高単価。愛知は品種が切り替わる年で、春は順調な見通し。高知は植え替え時期。宮崎は作型が替わり、気温の上昇とともに販売環境も良くなり、堅調となる見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は低かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	19年	3,895	217	203	240	千葉	42%
	20年	4,142	366	387	356	埼玉	24%
	21年	4,252	189	162	226	茨城	14%
	22年	3,998	362	373	379	群馬	7%
	23年	4,021	206	197	221	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	4,062	268	264	284	前年及び本年の	
	24年見通し	4,000	350	350	360	入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>前月に引き続き関東産地からの入荷が中心となる。千葉は秋冬作から春作と変わる時期であるが生育は2週間ほど遅れている。埼玉も低温と乾燥の影響により細ものが多い状況にある。</p> <p>入荷量は前年並みで、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>							
しそ	19年	6,295	241	254	273	茨城	67%
	20年	7,421	160	155	159	兵庫	12%
	21年	7,388	203	176	176	香川	6%
	22年	6,466	296	292	300	栃木	5%
	23年	7,516	133	129	124	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	7,017	203	215	206	前年及び本年の	
	24年見通し	7,400	200	230	170	入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>年末から天候不順で入荷減の単価高で推移している。茨城からの入荷が増えてくるが、生育は遅れ気味できている。4月に入りようやく回復してくる。兵庫産も中旬以降増量してくる。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
きゅうり	19年	6,317	255	240	232	埼玉	30%
	20年	6,673	263	260	283	群馬	22%
	21年	7,721	239	216	227	千葉	15%
	22年	6,546	326	334	322	茨城	13%
	23年	7,611	174	165	187	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	6,974	249	261	248	前年及び本年の	
	24年見通し	7,000	250	300	220	入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心となる。埼玉は全般的に日照不足で生育が遅れ気味にきている。群馬はについても同様な傾向であり急な回復は見込めないがこれまでの高値反動で相場は下げ基調となる懸念もある。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	19年	1,057	295	289	289	309	愛知 52%
	20年	1,139	276	279	256	292	熊本 44%
	21年	995	301	311	309	284	高知 4%
	22年	814	375	372	356	397	宮崎 1%
	23年	1,159	251	247	245	270	
す	5カ年平均	1,033	295	295	286	305	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,100	300	360	330	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知の干両と熊本の長なす。低温の影響による花落ちと、原油の高騰から加温控えによる生育遅れが発生している。上旬は高単価だが、気温の上昇とともに安定した価格となる見通し。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ト マ ト	19年	1,406	352	403	342	313	熊本 39%
	20年	1,403	334	349	359	303	愛知 37%
	21年	1,211	375	373	405	353	三重 14%
	22年	1,121	417	436	426	389	岐阜 7%
	23年	1,420	274	307	277	254	
ト	5カ年平均	1,312	347	371	358	318	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,200	380	400	380	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、熊本、三重、岐阜。低温の影響による生育遅れで、数量不足。高単価が見込まれるが、今後の気温上昇とともに入荷量も増加する見通し。マスコミの影響で需要は拡大傾向。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	19年	310	595	660	579	551	熊本 54%
	20年	302	620	657	629	587	愛知 34%
	21年	274	713	671	783	694	和歌山 10%
	22年	309	733	701	736	763	
	23年	399	533	589	528	466	
ト	5カ年平均	319	631	651	641	602	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	360	550	600	550	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は熊本、愛知中心。愛知はパック、熊本はバラ、和歌山は赤糖房。日照時間増加とともに着果数、着色ともよくなり、入荷量も増える見込み。気温の上昇とともに需要も強くなり、安定する見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	19年	3,689	328	307	323	361	高知 53%
	20年	4,063	310	310	308	313	福岡 21%
	21年	3,733	345	362	345	331	熊本 5%
	22年	2,797	454	463	432	466	群馬 5%
	23年	3,821	310	295	308	327	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	3,621	343	347	343	360	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	3,800	350	370	350	330		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地からの入荷が中心となる。高知は好天が続かず予想以上に少ない出荷で推移してきている。福岡も同様で4月は気温上昇に伴い増量傾向であるが今後の天候次第で変化する。</p> <p>入荷量は前年並が見込まれ、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
<p>西南暖地からの入荷が中心となる。高知は好天が続かず予想以上に少ない出荷で推移してきている。福岡も同様で4月は気温上昇に伴い増量傾向であるが今後の天候次第で変化する。</p> <p>入荷量は前年並が見込まれ、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
マ マ ト	19年	6,370	391	432	378	359	栃木 22%
	20年	6,794	378	413	396	337	熊本 22%
	21年	6,320	421	434	439	394	愛知 13%
	22年	5,609	467	484	488	434	千葉 8%
	23年	7,580	301	324	307	281	(愛知産比率 13%)
	5ヵ年平均	6,535	386	417	402	361	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	7,000	420	435	425	430		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>全国各産地の入り乱れての出荷となる。愛知の生育はほぼ順調で着果状態も比較的に良い。熊本は曇天、低温の影響で1週間ほどの遅れがある。栃木は着果量、玉伸びもよく順調な出荷見込み。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
<p>全国各産地の入り乱れての出荷となる。愛知の生育はほぼ順調で着果状態も比較的に良い。熊本は曇天、低温の影響で1週間ほどの遅れがある。栃木は着果量、玉伸びもよく順調な出荷見込み。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
ミ マ ト	19年	1,215	564	639	544	510	熊本 37%
	20年	1,115	602	627	600	584	愛知 26%
	21年	1,016	679	658	721	661	千葉 12%
	22年	1,068	723	684	724	759	宮崎 8%
	23年	1,532	475	542	480	430	(愛知産比率 26%)
	5ヵ年平均	1,189	596	630	614	589	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	1,200	600	650	600	550		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き熊本、愛知からの入荷が中心となる。熊本の生育はほぼ順調で、愛知の生育も順調であり中旬以降出荷のピークをむかえる。</p> <p>入荷量は多かった前年を大幅に下回るものの平年並で、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
<p>前月に続き熊本、愛知からの入荷が中心となる。熊本の生育はほぼ順調で、愛知の生育も順調であり中旬以降出荷のピークをむかえる。</p> <p>入荷量は多かった前年を大幅に下回るものの平年並で、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	19年	690	340	355	334	331	宮崎 50%
	20年	646	365	341	346	410	鹿児島 37%
	21年	601	499	512	511	475	高知 12%
	22年	518	637	614	601	716	
	23年	708	322	368	344	300	(愛知産比率 0%)
マン	5カ年平均	632	420	427	416	431	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	600	550	600	550	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は西南暖地中心の、宮崎、鹿児島、高知。これまでの低温と日照不足により、花芽が落ち不作傾向。数量減少で高値となる。4月も高いまま推移する見通し。今後の気温上昇と日照時間増加に期待したい。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	19年	4,254	133	145	136	119	鹿児島 73%
	20年	3,064	159	138	168	170	北海道 23%
	21年	3,535	152	164	155	140	長崎 4%
	22年	2,753	222	200	236	231	
	23年	2,633	266	296	296	234	(愛知産比率 0%)
いしょ	5カ年平均	3,248	179	182	189	171	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	2,700	220	220	220	220	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は鹿児島、北海道中心。鹿児島は大島の残量と本土もので、大島の残量はある。本土ものは収穫が天候に左右されるため、出荷が遅れている。北海道の残量は少なめ。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	19年	6,678	69	75	67	64	北海道 58%
	20年	5,878	73	77	74	68	愛知 29%
	21年	6,781	78	87	81	69	NZ 4%
	22年	6,091	104	105	105	103	静岡 2%
	23年	4,871	115	127	119	114	
ねぎ	5カ年平均	6,060	86	92	87	82	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	4,800	105	110	105	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道の貯蔵ものと、新玉ねぎの静岡、愛知が中心。北海道の残量は少ない。静岡、愛知の流通量により、価格が推移する見通し。愛知はネット販売が始まり、量は増える見込み。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	19年	2,224	357	346	381	茨城	57%
	20年	2,215	451	410	515	宮崎	19%
	21年	2,148	513	534	466	高知	15%
	22年	1,808	672	616	728	鹿児島	9%
	23年	2,283	310	344	273	(愛知産比率 -%)	
マン	5カ年平均	2,136	451	437	462	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	24年見通し	2,200	530	540	450		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城からの入荷が中心で、年明けから続く低温、日照不足の影響で、着果状況が良くない。高知についても面積増はあるものの生育は茨城と同様のことが言える。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
ばいしょ	19年	9,251	127	125	128	北海道	49%
	20年	9,961	122	125	132	鹿児島	46%
	21年	9,342	140	147	139	長崎	4%
	22年	8,525	193	200	209	(愛知産比率 -%)	
	23年	8,485	226	244	213		
いしょ	5カ年平均	9,113	159	166	162	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	24年見通し	8,750	170	170	170		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>鹿児島からの入荷が本格化し、北海道の貯蔵ものは終盤となる。鹿児島の生育は寒さの影響で生育遅れがあり、小玉傾向で出荷量は伸びてこない。一方、北海道は前年比増の出荷を計画している。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>							
たまねぎ	19年	15,228	70	64	61	佐賀	44%
	20年	14,174	81	83	73	北海道	39%
	21年	13,446	92	88	91	長崎	4%
	22年	12,118	136	133	136	米国	3%
	23年	12,027	122	128	107	(愛知産比率 1%)	
ねぎ	5カ年平均	13,399	98	97	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	24年見通し	13,000	100	100	100		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道の貯蔵ものが終盤になり佐賀からの新玉ねぎの入荷が本格化する。佐賀は作型によっては定植遅れもあるものの中下旬に出荷のピークを迎え前年をやや上回る出荷が見込める。北海道の貯蔵量は前年並。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量		卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
				上旬	中旬	下旬		
果実	19年	10,303	363	354	376	357	フィリピン	23%
	20年	10,734	324	330	328	314	熊本	18%
	21年	10,147	306	303	305	311	青森	16%
	22年	9,755	315	318	305	322	愛知	9%
	23年	9,542	324	326	328	325		
	5カ年平均	10,096	327	-	-	-		
	24年見通し	7,800	390	-	-	-		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>りんご、いちごが不作で数量が少ない。特にいちごは2～3割の入荷減少でそれにとともに高単価。かんきつは前年よりは数量は多く、大玉傾向。キウイフルーツは国産が前倒しで、4月で終了見込み。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>						
いちご	19年	1,300	789	692	852	861	愛知	60%
	20年	1,399	711	824	683	625	熊本	19%
	21年	1,306	679	710	629	700	鹿児島	5%
	22年	1,178	726	766	652	762	三重	5%
	23年	1,324	742	773	690	788		
	5カ年平均	1,302	729	-	-	-		
	24年見通し	1,200	750	800	700	750		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、熊本中心。今年是不作の年。今後の気温上昇にとともに入荷量は増える見込みだが、低温が続けば高単価となる見通し。原油高騰による経費増加で、将来的に作付け面積減少も危ぶまれる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並み見込み。</p>						
その他メロン (アールスメロンを除く)	19年	633	401	436	423	361	メキシコ	49%
	20年	582	383	403	416	360	熊本	43%
	21年	589	315	221	310	362	鹿児島	5%
	22年	335	493	545	530	466		
	23年	583	293	270	298	338		
	5カ年平均	544	367	-	-	-		
	24年見通し	400	500	550	550	450		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は熊本中心で、他に鹿児島、メキシコ。低温から数量不足。国内産は原油高騰により、生産者に負担がかかる状況。メキシコ国内の動きが落ち着けば、輸入ものが増加する見通し。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	19年	28,555	399	389	404	404	青森 21%
	20年	32,698	359	374	356	348	フィリピン 14%
	21年	34,295	328	332	327	324	熊本 12%
	22年	32,435	337	342	334	336	愛媛 10%
	23年	31,044	357	359	355	356	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	31,805	355	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	31,000	320	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>りんご、中晩柑、いちご中心に入荷する。中晩柑は不作だった昨年と比べて入荷が上回る。すいか類は低温の影響で生育遅れがみられる。マンゴーは秋口の高温で花芽が遅れ、出荷が1か月程度遅れる。 総入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回ると見込まれる。</p>					
い ち ご	19年	4,680	797	731	832	860	栃木 31%
	20年	5,488	780	876	746	707	福岡 23%
	21年	5,209	711	767	643	730	佐賀 11%
	22年	4,730	773	814	722	780	茨城 11%
	23年	5,521	751	785	704	779	(愛知産比率 3%)
	5カ年平均	5,126	762	796	727	769	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	5,000	780	820	780	770	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木中心に福岡、佐賀から入荷する。栃木の生育は回復し昨年並みに近づく予想。不受精果が多くB品が多い。福岡は出荷ピークがない出荷。佐賀は生育が回復し昨年並みの予想。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回ると見込まれる。</p>					
ア ン デ ス メ ロ ン	19年	413	533	640	563	480	熊本 80%
	20年	334	524	676	586	454	茨城 20%
	21年	291	555	677	601	510	
	22年	280	562	712	618	503	
	23年	336	493	617	552	454	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	331	532	661	581	479	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	270	530	670	600	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本中心に入荷する、下旬から茨城が加わる。熊本は、冬期の低温の影響から生育が遅れており、中旬以降に出回る予想。後続産地の茨城も天候不順の影響で生育は遅れている。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をかなり上回ると見込まれる。</p>					

切花・鉢花の4月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 3月26日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実 績	19年	2,820	46	
		20年	2,430	50	
		21年	2,412	47	
		22年	2,346	54	
		23年	1,917	42	
	5ヶ年平均	2,385	48		
24年見通し	2,100	45			
概要	愛知、沖縄を中心に入荷。4月は予定よりも遅れる見通し。品種でいえば神馬が中心だが他の品種も導入が目立っているため白菊だけで見ると中旬から後半にかけては通常入荷に戻るが、「神馬」の入荷だけをとらえるとやや少なくなる見通し。他の品種で「精興の誠」や「峻白」等が作付されている。「神馬」だけはやや高めで推移しそうである。				
小 ぎ	実 績	19年	1,485	27	
		20年	1,614	23	
		21年	1,650	23	
		22年	1,211	30	
		23年	1,062	35	
	5ヶ年平均	1,404	27		
24年見通し	1,200	30			
概要	沖縄中心の入荷。3月の彼岸にピークを合わせるの実際にはやや少なくなる。4月に入ると少しずつ回復してくるが、極端な増加は見られない。気温がやや高めなので傷み等の心配はあるが中旬あたりからは安定した出荷が期待できそう。一部では愛知県内の出荷も少しずつある。品質はかなり良い				
カー ネー ション	実 績	19年	1,518	41	
		20年	1,426	37	
		21年	1,466	37	
		22年	1,974	48	
		23年	1,321	38	
	5ヶ年平均	1,541	41		
24年見通し	1,450	40			
概要	愛知、長野、和歌山を中心に入荷。1、2月と厳冬であり、3月にも雪が降るなど冷え込みが続き、出荷が抑制されていたのが、一気に4月からは出てきそう。4月第1週は需要も見込めるが、第2週以降は苦しい展開が予想される。				
か す み	実 績	19年	237	83	
		20年	224	74	
		21年	217	72	
		22年	243	89	
		23年	215	70	
	5ヶ年平均	227	78		
24年見通し	230	70			
概要	高知、和歌山、熊本から入荷。高知、和歌山は順調な入荷、九州は冷え込みによる生育の遅れがあり、4月前半は少なめの入荷で、中旬から数量は増えてくる。価格は数量が増え次第落ち着くが、業務需要の動き次第では弱目の動きとなる可能性もある。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	19年	348	207	
		20年	366	168	
		21年	349	167	
		22年	377	194	
		23年	302	181	
	5ヶ年平均		348	184	
	24年見通し		330	190	
概要	高知、埼玉、愛知、静岡、岐阜からの入荷。鉄砲、LAは順調。OHは3月出荷の遅れ分が4月に集中しそう。価格は前半は弱目の動きとなるが、数量が安定しそうな中旬以降は相場も戻ってきそう。				
洋 ら ん	実績	19年	379	93	
		20年	390	82	
		21年	346	81	
		22年	488	156	
		23年	392	77	
	5ヶ年平均		399	101	
	24年見通し		430	80	
概要	愛知、徳島、静岡、鹿児島等に輸入物が入荷。今年の冬は全体を通して気温が低かったため、入荷量は少なめであったが、4月になり気候が穏やかになると入荷量も増え、単価的には苦しい展開となろう。				
ば ら	実績	19年	1,108	69	
		20年	1,118	63	
		21年	1,062	66	
		22年	1,163	76	
		23年	967	70	
	5ヶ年平均		1,083	69	
	24年見通し		1,060	70	
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山中心に入荷。高冷地産も出荷が始まり、入荷量は安定する。4月2週目位までそこそこ需要がありそう。3週目に一旦落ち着くが、4週目位からは連休もあり、日柄もいいことから5月に向け持ち直してくるだろう。				
枝 も の	実績	19年	1,520	43	
		20年	1,450	41	
		21年	1,309	40	
		22年	684	63	
		23年	1,742	39	
	5ヶ年平均		1,341	43	
	24年見通し		1,750	40	
概要	長野、静岡、岐阜中心に入荷。山取り物が徐々に多く入荷してくる。前半は入社、入学式等のイベント需要があり、花物の枝物の引き合いが強まる				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カ ラ 鉢 I	実績	19年	33,074	545	
		20年	26,966	531	
		21年	36,572	542	
		22年	33,070	515	
		23年	55,189	470	
	5ヶ年平均		36,974	514	
	24年見通し		45,000	450	
概要	<p>入荷量は生産減のため減少か。4号鉢は増加し、5号鉢は減少か。下旬頃から需要が増加し、相場は安定か。 昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(39.3%)、2位埼玉(25.3%)、3位長野(19.3%)となっている。</p>				
フ ア レ ノ ブ シ ス	実績	19年	57,134	2,863	
		20年	49,679	2,444	
		21年	57,869	2,312	
		22年	60,099	2,399	
		23年	55,625	2,111	
	5ヶ年平均		56,081	2,426	
	24年見通し		55,000	2,100	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。ミディアムタイプ、大輪タイプとも生育状況は順調のようだ。相場も安定か。 昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(57.9%)、2位静岡(9.0%)、3位山梨(7.1%)となっている。</p>				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実績	19年	87,258	249	
		20年	85,226	265	
		21年	117,031	254	
		22年	102,606	295	
		23年	106,039	274	
	5ヶ年平均		99,632	268	
	24年見通し		105,000	270	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。2月の低温・日照不足が生育状況にどこまで影響するか。下旬頃から需要が増加し、良品の相場は安定か。ただし、3、5号鉢は厳しそう。 昨年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜(54.4%)、2位愛知(36.0%)、3位愛媛(2.8%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイドロジャン	実績	19年	101,922	632	
		20年	91,276	659	
		21年	182,620	620	
		22年	173,363	636	
		23年	194,219	626	
	5ヶ年平均		148,680	632	
	24年見通し		190,000	620	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。愛知県産の5号鉢を中心に、品種ものの入荷となりそう。品種の偏りがある分、色別での注文対応は困難となりそう。 昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(76.4%)、2位群馬(8.3%)、3位栃木(4.4%)となっている。</p>				
スパティ	実績	19年	40,473	303	
		20年	42,136	332	
		21年	44,724	310	
		22年	32,431	384	
		23年	30,251	364	
	5ヶ年平均		38,003	335	
	24年見通し		30,000	350	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。素材としての苗ポットは増加し、5号鉢以上は減少か。下旬頃から需要が増加し、相場は安定か。 昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(36.1%)、2位三重(27.4%)、3位岐阜(21.5%)となっている。</p>				
カーネーション	実績	19年	120,102	292	
		20年	85,194	288	
		21年	143,710	350	
		22年	134,404	376	
		23年	185,369	328	
	5ヶ年平均		133,756	331	
	24年見通し		150,000	320	
概要	<p>母の日が最も遅いので、この月の入荷量はやや減少か。2月の低温、日照不足が生育状況にどこまで影響するか。母の日の直前需要が増加している為、この月の相場は下げ傾向となりそう。5月に期待したい。 昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(32.6%)、2位茨城(22.7%)、3位福島(9.1%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2012年)

1 輸入実績

品名	1月						1月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	76,043	107.2	6,575,800	105.4	86	98.2	76,043	107	6,575,800	105	86	98.2
トマト	238	161.4	81,010	163.8	340	101.5	238	161	81,010	164	340	101.5
たまねぎ	29,125	71.3	881,988	47.2	30	66.3	29,125	71	881,988	47	30	66.3
にんにく	1,697	121.3	177,485	56.3	105	46.4	1,697	121	177,485	56	105	46.4
ねぎ	4,370	121.8	439,068	125.6	100	103.1	4,370	122	439,068	126	100	103.1
ブロッコリー	3,400	200.2	536,491	185.1	158	92.5	3,400	200	536,491	185	158	92.5
結球キャベツ	3,704	259.9	103,554	206.2	28	79.3	3,704	260	103,554	206	28	79.3
にんじん・かぶ	5,395	179.4	164,046	108.9	30	60.7	5,395	179	164,046	109	30	60.7
ごぼう	4,057	170.5	193,381	95.3	48	55.9	4,057	170	193,381	95	48	55.9
えんどう	293	346.9	93,315	405.3	319	116.8	293	347	93,315	405	319	116.8
アスパラガス	1,434	104.8	776,785	106.6	542	101.7	1,434	105	776,785	107	542	101.7
まつたけ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
しいたけ	909	145.1	231,652	146.2	255	100.7	909	145	231,652	146	255	100.7
かぼちゃ	15,696	164.5	979,909	158.0	62	96.0	15,696	164	979,909	158	62	96.0
果実(生鮮・乾燥)	126,898	106.4	12,667,999	107.4	100	100.9	126,898	106	12,667,999	107	100	100.9
バナナ	77,246	102.2	4,172,215	102.0	54	99.8	77,246	102	4,172,215	102	54	99.8
パイナップル	10,097	107.5	550,008	106.2	54	98.7	10,097	108	550,008	106	54	98.7
レモン	4,415	113.1	518,137	117.8	117	104.1	4,415	113	518,137	118	117	104.1
オレンジ	6,837	199.9	642,406	180.5	94	90.3	6,837	200	642,406	181	94	90.3
グレープフルーツ	12,811	121.2	1,190,509	114.0	93	94.0	12,811	121	1,190,509	114	93	94.0
メロン	1,110	35.7	121,195	37.7	109	105.6	1,110	36	121,195	38	109	105.6
ぶどう	385	192.4	107,706	191.9	280	99.8	385	192	107,706	192	280	99.8
キウイ	68	-	10,958	-	161	-	68	-	10,958	-	161	-
いちご	14	414.1	10,853	372.2	770	89.9	14	414	10,853	372	770	89.9
切花(生鮮・乾燥)	3,011	107.1	2,321,689	112.8	771	105.3	3,011	107	2,321,689	113	771	105.3
鳥獣肉類	147,248	106.4	63,530,641	109.8	431	103.1	147,248	106	63,530,641	110	431	103.1
牛肉(くず肉含む)	37,208	102.5	14,401,235	101.6	387	99.1	37,208	103	14,401,235	102	387	99.1
豚肉(くず肉含む)	68,779	119.2	36,078,504	119.5	525	100.3	68,779	119	36,078,504	119	525	100.3
鶏肉	34,983	93.8	9,226,267	100.0	264	106.6	34,983	94	9,226,267	100	264	106.6
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	165,587	110.6	86,819,888	112.3	524	101.5	165,587	111	86,819,888	112	524	101.5
まぐろ類	15,973	101.2	12,966,262	110.5	812	109.2	15,973	101	12,966,262	110	812	109.2
さば・さんま・あじ・いわし	16,227	140.0	2,909,582	143.2	179	102.3	16,227	140	2,909,582	143	179	102.3

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	820	11.8	427,893	18.6	522	157.1	820	12	427,893	19	522	157.1
うんしゅうみかん	60	59.5	39,056	56.2	656	94.5	60	59	39,056	56	656	94.5
りんご	693	10.4	294,625	14.4	425	138.1	693	10	294,625	14	425	138.1
なし	5	28.2	2,316	32.0	438	113.7	5	28	2,316	32	438	113.7
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	109,165	59.1	-	-	-	-	109,165	59	-	-
緑茶	141	90.0	301,225	116.5	2,131	129.4	141	90	301,225	116	2,131	129.4

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	23年 9月	99.9	101.4	88.8	99.8	101.9
	10月	100.0	111.2	92.2	99.7	100.1
	11月	99.4	90.3	94.8	99.4	99.9
	12月	99.4	90.6	98.9	99.5	101.1
	24年 1月	99.6	106.3	113.5	99.9	103.2
愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	23年 9月	99.9	104.7	95.3	105.1	104.6
	10月	100.0	114.4	93.3	102.0	104.1
	11月	99.3	91.0	93.4	98.8	101.5
	12月	99.3	92.3	98.6	100.0	103.1
	24年 1月	99.3	103.7	117.4	100.5	104.0

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	22年平均	95.7	98.0	100.7	91.5	98.5
	23年 9月	99.1	90.8	114.7	93.4	101.3
	10月	107.4	97.2	137.3	103.7	99.0
	11月	98.1	97.9	93.6	135.9	98.1
	12月	102.3	99.3	109.9	135.2	99.4
	24年 1月	109.2	99.9	131.8	140.2	97.5

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単-品種、「コシカ り」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
22年平均	2,236	158	172	603	419	313	142	314	203	510	615	201	447
23年 9月	1,883	122	212	748	756	267	178	344	210	601	645	193	-
10月	1,987	169	291	759	572	300	217	363	205	628	925	186	-
11月	2,058	133	142	619	331	299	138	317	213	553	637	178	503
12月	2,053	118	128	565	401	286	113	356	224	687	665	183	447
24年 1月	2,058	211	152	705	625	280	150	302	216	721	651	182	531
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
22年平均	604	312	382	143	254	682	603	162	166	326	223	752	479
23年 9月	753	280	382	-	239	734	532	149	165	296	236	862	428
10月	524	272	391	-	225	691	544	158	190	308	229	841	422
11月	466	240	395	-	210	646	521	150	164	295	219	756	398
12月	466	291	400	176	219	732	532	151	167	322	224	733	409
24年 1月	575	295	366	189	227	701	547	156	159	306	230	752	408

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 466
平成24年4月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421